

[アルカディアホームニュース] 住まいのがわら版



梅雨を爽快に乗り切ろう！

カンタンにできる住まいの湿気対策

はじめじめとした梅雨の時期でもお部屋の中をカラッと快適に保つコツを場所やケースごとにご紹介します。

梅雨時の換気

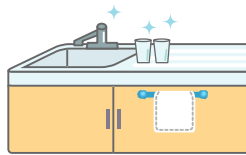
湿気対策の基本は何といても換気。でも雨の日や外の湿度が高い時に窓を開けると、湿った空気が室内に入り逆効果になります。梅雨の季節の換気は、晴れた日に湿気の少ない12時～16時頃の時間を選んで行いましょう。



キッチンの湿気対策

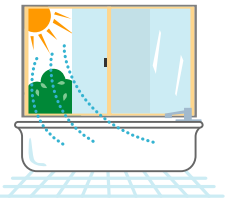
調理中や洗い物の最中はもちろん、調理後も最低30分は換気扇を回して水蒸気を完全に追い出します。キッチンを使った後は、シンクやワークトップを乾いた布で拭いて水分を残さないようにしましょう。

梅雨時に特に注意したいのが洗い終わった食器。濡れた食器を水切り棚に置きっぱなしにすると、細菌が繁殖する恐れがあります。乾いた布ですぐに拭きとりましょう。



バスルームの湿気対策

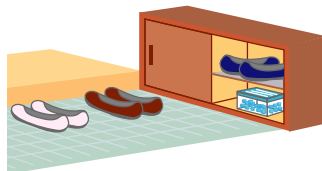
湿度だけでなく温度も高いバスルーム。最後に入った人は、浴槽の水を抜くか、フタをきちんと閉めて、換気扇を朝まで回すように設定しましょう。洗面室に湿気が逃げないように扉をきちんと閉めることもお忘れなく。晴れた日の昼間には窓を開けて空気を入れ換えてください。



玄関の湿気対策

傘は外で水滴を払って残った水分を拭いてから玄関内に持ち込みましょう。濡れた靴はぞうきんで拭いて新聞紙を詰めておきます。天気の良い日に陰干しして、完全に乾いてから下駄箱に収納しましょう。

下駄箱は棚に新聞紙を敷き、下段に除湿剤を置いておきます。湿気を吸ってくれる新聞紙はこまめに取り替えましょう。



クローゼットの湿気対策

一日着た洋服をすぐにクローゼットにしまうのは禁物。梅雨時は汗だけでなく湿気も大量に吸い込んでいます。できるだけ乾燥させてから収納しましょう。風通しをよくするために、服を詰め込みすぎないことも肝心です。

服を出し入れするときには換気も兼ねて扉を全開にして、定期的に除湿機またはエアコンをかけて中の湿気をしっかりと逃がしましょう。



<梅雨時こそこまめにお洗濯を>

「次に晴れたら、まとめて一気に」そう思って洗濯物をためてしまった経験はありませんか？でも沢山たまった洗濯物の中には濡れたものもあり梅雨時はカビの温床。洗面室のいやなニオイの原因にもなります。

梅雨時こそ少量をこまめに洗濯しましょう。干す量が少なければ部屋干しでも室内湿度が上がりやすく、乾きも早く、生乾きのニオイも防げます。

乾燥機がなくても扇風機の風を当てたり、除湿器や、エアコンのドライや送風機能を使えば短時間で乾きます。

**はじめじめ梅雨時もほんの少しの手間でドライな室内が保てます。
人に快適なだけでなく、カビやダニの繁殖を抑えることにも役立ちます。**

浴室乾燥機付きバスルームなどリフォームのご相談は弊社までどうぞ。